

平和を実現するために私たちができること

3班 氏名 野口 侑希、内山 侑里、池田 蓮、北村 周也、菊地 彩香、河井 優季、小宮山 陽南

出発前に平和について思っていたこと

- 誰もが安心して健康に過ごせる世界
- 戦争は悲劇を生み出すということを実感したからこそ平和のあり方がわかるようになった

1日目に感じたこと、思ったこと

- 野村さんという方が、地下室に自ら資料を取りに行ったおかげで助かった。
→ 何が命を救うかはわからない。
- 人はいつせくなるか/わからない。
→ 当時の人たちは「生きる」という選択ができてなかった



私たちが
命を大切に過ごしていきたい



2日目に感じたこと、思ったこと

- 戦争を二度とおこさないように、自分達が積極的に行動し、さらに、世界中に広めていきたい。
- 声に出したり、話や絵で感じたりすることで、想像が広がり、「いのちの平和より、作る平和」を実現させていきたいと思う。
- もっと、世界中にとうとう流しを広めていきたい。



3日目に感じたこと、思ったこと

- 原爆で壊れた建物や焼け焦げた衣服、被爆者の写真を見て、一人一人の命の重さを感じた。
- 戦争の悲惨さ思い出された。
- 佐々木禎子さんの話から原爆は一瞬の被害だけに留まらず、その後もじわじわと身体に影響を与えていくものだとわかった。



広島派遣を終えて、今平和について思っていること

- 小さな所でも平和は存在する
- 毎日笑って家族と過ごせること
- 世界では平和じゃない所もある

班のテーマに対するまとめ

- 被爆した人がいなくなっても、次世代の人に伝承していく!
- 身近な人にあいさつなど
小さなところから平和をつかっていく!